

第3回（平成27年度）苫小牧市スポーツ推進審議会 議事録

|       |   |
|-------|---|
| 日 時   | 平成27年6月30日（火） 18:00～19:00   |
| 場 所   | 市役所5階 第2応接室   |
| 出席委員  | 岩井委員、大村委員、斎野委員、島崎委員、須藤委員、長岡委員、中村委員、<br>本間委員、前田委員、丸山委員<br>(敬称略、五十音順)   |
| 事 務 局 | 総合政策部 スポーツ推進室   |
| 会議次第  | 1 開会<br>2 総合政策部長挨拶<br>3 スポーツ推進室職員紹介<br>4 議事<br>(1) 「苫小牧市スポーツ推進計画（案）」について 【資料1】<br>ア <第1章> 計画の策定にあたって<br>イ <第2章> スポーツを取り巻く環境と課題<br>(2) スポーツ都市宣言50周年事業について 【資料2】<br>5 その他<br>(1) 平成27年度スポーツ施設の整備状況について 【資料3】<br>(2) 全国高等学校選抜アイスホッケー大会の今後の運営について<br>(3) 新ときわスケートセンター騒音問題について<br>6 閉会 |

| 発言者  | 発 言 内 容  |
|------|--|
| 事務局  | <p>定刻となりました。委員の皆様におかれましては、お忙しい中お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>ただいまから「第3回 苫小牧市スポーツ推進審議会」を開催いたします。続きまして、総合政策部長の富田よりご挨拶申し上げます。</p>  |
| 富田部長 | <p>本日はご多忙の中、3回目となります苫小牧市スポーツ推進審議会にご出席をいただき、誠にありがとうございます。</p> <p>過去2回の審議会におきまして、スポーツ推進審議会の設置、スポーツ都市宣言、スポーツ施設の現状、運動・スポーツ活動実態調査などについて、ご審議いただきました。</p> <p>本日から、スポーツ推進計画の内容についてご審議いただくこととなりますので、委員皆様方の過去の経験やスポーツに対する思いなど、引き続きご意見をいただきまして、この計画が本市のスポーツ施策全般に大いに役立つものになりますことを期待しております。</p> <p>さて、先月5月3日に陸上競技場がオープンしまして、市内外からたくさんの選手が訪れ陸上競技場を利用していただいております、また陸上競技大会の参加選手も増えている状況にあります。</p> <p>スポーツ施設の整備により、多くの大会や合宿の誘致にもつながることを期待し、またスポーツを通じて活気ある苫小牧になることも期待しているところです。</p> <p>最後になりますが、苫小牧駒澤大学の皆様にご協力いただきましたスポーツ活動の実態調査結果をもとに、本日は「苫小牧市スポーツ推進計画（案）」の第1章と第2章を策定しご提案しております。委員の皆様方の忌たんの無いご意見をいただきながら、ご審議していただくことをお願いいたしまして、ご挨拶とさせていただきます。</p> |

|      |   |
|------|---|
| 事務局  | <p>つづきまして、4月の人事異動で職員が代わりましたので自己紹介をしていきたいと思えます。</p> <p>－ 各自自己紹介 －</p> <p>なお、富田部長につきましては公務のため、ここで退席させていただきます。ありがとうございます。</p> <p>ここで会議の成立についてご報告いたします。</p> <p>本日は、委員12人中、10人が出席されております。過半数以上の出席でございますので、会議が成立していることをご報告いたします。</p> <p>それでは、これより議事に入らせていただきますが、審議会条例の第4条第3項に従いまして、丸山会長に議長をお願いいたします。</p> <p>丸山会長、お願いします。</p>  |
| 丸山会長 | <p>では、ここから私が進行をさせていただきます。</p> <p>早速ですが、次第3の議事に入ります。</p> <p>(1)「苫小牧市スポーツ推進計画(案)」について、事務局から説明をお願いいたします。</p>   |
| 事務局  | <p>まず、配付資料の確認をさせていただきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料1 「苫小牧市スポーツ推進計画(案)」 <ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;第1章&gt;計画の策定にあたって</li> <li>&lt;第2章&gt;スポーツを取り巻く環境と課題</li> </ul> </li> <li>・資料2 つなごう「スポーツ都市宣言50周年」</li> <li>・資料3 平成27年度のスポーツ施設の整備状況について</li> <li>・別紙1 スポーツ活動実態調査集計結果</li> <li>・別紙2 スポーツ活動実態調査自由記入欄回答集</li> </ul> <p>以上の資料はお手元にありますでしょうか。</p> <p>それでは苫小牧市スポーツ推進計画(案)についてご説明いたします。</p> <p>前回の第2回審議会では推進計画の構成についてお示ししておりますが、本日はその内の&lt;第1章&gt;計画の策定にあたってと、&lt;第2章&gt;スポーツを取り巻く環境と課題について、審議していただきたいと考えておりますのでよろしくお願ひいたします。</p> <p>それでは、お手元の資料1に沿って説明させていただきます。</p> <p>&lt;第1章&gt;計画の策定にあたっての前に、&lt;はじめに&gt;ということで「市長あいさつ」を掲載いたしますが、市長のあいさつ文につきましては、推進計画全体が審議されてから最後にお示ししたいと考えておりますので本日はお示ししておりませんのでご了承願ひたいと思えます。</p> |

|     |  |
|-----|--|
| 事務局 | <p>最初に、1ページの&lt;第1章&gt;「計画の策定にあたって」についてご説明いたします。</p> <p>1の「計画の趣旨」でございますが、全国で初めてスポーツ都市宣言を行った趣旨や位置づけ、少子高齢化やライフスタイルの変化によるスポーツに求められる意義について冒頭に記載しております。</p> <p>中段では、スポーツ振興法からスポーツ基本法に変わったことによる、国や地方公共団体の責務が明らかになったこと、スポーツを取り巻く環境が大きく変化してきていることを記載しております。</p> <p>最後には、前段の状況を踏まえて「苫小牧市スポーツ推進計画」を策定すると結んでおります。</p> <p>次に、2の「計画の位置づけ」についてでございますが、スポーツ基本計画を参照し本市の上位計画であります「苫小牧市総合計画」の基本構想及び第5次基本計画の個別計画として具体化するものであることを記載しております。</p> <p>次に、3の「計画の期間」についてでございますが、本市の上位計画の「苫小牧市総合計画」が平成29年度までとなっておりますので、担当部署と検討が必要になると考えておりますが、とりあえず平成28年度から平成37年度までの10年間としまして、中間年で見直すこととして記載しております。</p> <p>次に、2ページの4の「スポーツの定義」についてでございますが、運動競技だけではなくキャンプなどの野外活動のレクリエーション、散歩やラジオ体操などの軽い運動まで心身の健全な発達を図るものをスポーツとして幅広く定義することを記載しております。</p> <p>次に、5の「計画の理念とテーマ」についてでございますが、今まで本市ではスポーツ都市宣言を柱にしてスポーツの普及振興を図ってきており、推進計画においてもスポーツ都市宣言で示す4つの目標を基本理念としていくことを記載しております。</p> <p>中段には、スポーツ都市宣言の宣言文を記載しております。</p> <p>下段では、市民に広くこの理念が理解されるように簡潔でわかりやすいテーマを掲げたいのですが、案として「活気みなぎるスポーツ都市とまこまい」～スポーツを皆愛し、市民が、まちが活気あふれる都市へ～と記載させていただきましたが、委員の皆様からご提案いただきまして、決めていきたいと考えております。まだ時間はありますので、次回の審議会の時にでも委員の皆様からご提案いただきまして決定していきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>次に、3ページの&lt;第2章&gt;スポーツを取り巻く環境と課題についてでございます。</p> <p>冒頭には、推進計画を策定するための実態調査を実施したこと、この実態調</p> |
|-----|--|

|     |   |
|-----|---|
| 事務局 | <p>査結果を中心に各種統計を参考にして、スポーツを「する人」、「観る人」、「支える人」、「つながり」の4つの観点から分析したことを記載しております。</p> <p>次に、1の「本市のスポーツを取り巻く環境」についてでございますが、冒頭に本市の人口の動向について記載し、中段からは現在の様々な社会情勢などの変化によりスポーツ競技人口が減少していること、少子化によりスポーツ少年団の登録人数が減少していること、スポーツ施設の現状について記載しております。結びとして、スポーツを通じて子どもから高齢者まで心と身体の健康づくりを図ること、次代を担う子どもに夢を与え安心して遊べる場所や機会の提供、仲間や地域との交流、スポーツ施設の整備が急がれる状況にあることを記載しております。</p> <p>4ページには、道内主要都市の人口、本市の年齢別人口、平均年齢の推移の表とグラフを掲載しております。</p> <p>次に、5ページの2の「本市の現状と課題」についてでございます。</p> <p>(1)健康と体力の現状ということで、実態調査の結果を基に現状について記載しており、図1には健康だと思うか、図2には体力に自信があるか、図3では運動日数、図4では運動不足を感じるか、図5では年代別の運動不足の割合をグラフにして記載しております。</p> <p>6ページでは、子どもの体力の現状ということで、本市の教育委員会で公表しております、小学校5年生と中学校2年生を対象とした「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果に基づきまして、本市の児童生徒の平均値を全国、全道と比較をした結果を記載しまして、さらにそれぞれを表にまとめて記載しております。</p> <p>次に、7ページの(2)スポーツを「する人」の現状についてでございます。最初に、運動やスポーツを行った種目につきまして、実態調査の結果から1年以内に行った運動・スポーツの上位10種目について記載しております。</p> <p>次に、運動やスポーツを行った理由につきまして、実態調査の結果に基づいて記載しグラフでも示しております。</p> <p>次に、8ページの運動やスポーツを行わなかった理由につきまして、これも実態調査の結果に基づいて記載しグラフでも示しております。</p> <p>次に、地域の運動・スポーツ活動につきまして、地域住民が参加するスポーツ活動への参加の実態、また参加したいと思うスポーツ行事について実態調査の結果に基づいて記載しそれぞれグラフに示しております。</p> <p>次に、9ページの(3)スポーツを「観る人」の現状についてでございます。この1年間にスポーツを観戦したかどうか、スポーツ観戦のきっかけを実態調査の結果を基に記載し、それぞれグラフに示しております。</p> <p>次に、10ページの(4)スポーツを「支える人」の現状についてござい</p> |
|-----|---|

|     |  |
|-----|--|
| 事務局 | <p>ます。</p> <p>最初に、スポーツ推進委員につきまして、市内8地区から45人のスポーツ推進委員を選出し市民に対する実技指導や助言、スポーツ行事への協力、さらに各種大会や教室などの企画立案を実施しスポーツ活動を支えていることを記載しております。</p> <p>次に、スポーツボランティアにつきまして、実態調査の結果に基づきスポーツに関するボランティア活動を行ったか、行っていないか、ボランティア活動を行うきっかけや動機付けについて記載しグラフにも示しております。</p> <p>次に、11ページのスポーツに関する情報についてですが、運動・スポーツに関する興味ある情報と、スポーツ情報の入手方法について実態調査の結果に基づいて記載しグラフにも示しております。</p> <p>次に、12ページの(5)スポーツ施設の現状についてでございます。この1年間で利用した市営のスポーツ施設についてと、市営スポーツ施設に望むことについて実態調査の結果に基づいて記載しグラフにも示しております。また、現状のスポーツ施設が老朽化が進んでいること、改修や修繕を計画的に実施しなければならない状況について記載しております。</p> <p>次に、13ページの(6)市民スポーツ開放事業についてでございます。青少年の健全な育成と地域住民のスポーツ振興のために、小中学校の体育館やグラウンドを開放していることを記載しております。</p> <p>次に、14ページの(7)スポーツ都市宣言・氷都とまこまいについてでございます。最初にスポーツ都市宣言の認知度についてでございますが、実態調査の中で、本市が全国で初めて「スポーツ都市宣言」を行った街である事を知っているかとの質問の結果について記載しております。</p> <p>次に、氷都とまこまいの認知度についてでございますが、本市が「スケートのまち」や「アイスホッケータウン」と言われていることに対してどのように思うかとの問に対する実態調査の結果を記載しグラフにも示しております。</p> <p>次に、15ページの(8)様々なスポーツ事業の実施についてでございます。ここでは、本市が行っている主なスポーツ事業につきまして、17ページまで記載しております。</p> <p>最後に、18ページの(9)スポーツを取り巻く課題の整理についてでございます。</p> <p>ここでは、(8)までのことを踏まえて課題の整理について記載しております。</p> <p>冒頭に、今後の少子高齢化社会を見据えた事業の工夫の必要性、健康・障がい者・高齢者・教育分野などの各種計画との関連性を把握し関係部署との連携に</p> |
|-----|--|

|      |   |
|------|---|
| 事務局  | <p>よる横断的な推進について記載しております。</p> <p>中段では、子どもの体力の向上や生活習慣病予備群の増加、地域でのスポーツや少年団の活動など個々のライフスタイルに即したスポーツ振興を図り、「スポーツをする人」や「スポーツをしたい人」が参加できる機会を増やすこと、市民の健康や体力づくりの推進を図ること、また競技人口や競技力の向上のためにはトップアスリートを観て学ぶことや交流によって学ぶことの重要性を記載し、そのためのスポーツ施設の整備や大会・合宿の誘致活動などを強化し「スポーツを観る人」の機会を増やすこと、さらに競技力向上のため、高い指導力や高度な専門技術を持つ指導者の育成の必要性、スポーツボランティアの必要性を記載し「スポーツを支える人」が積極的に活躍できる環境づくりの必要性についても記載しております。</p> <p>最後に、「スポーツ都市宣言」を行ったことを市民に広く周知し、未来につないでいくこと、スポーツの果たす役割の大切さ、スポーツを通じて地域づくりや活性化につながることを記載し結びとしております。</p> <p>以上、＜第1章＞＜第2章＞についてご説明いたしましたが、事前に資料を送付させていただきまして一読されていると思いますが、皆様から何かご意見やアイデアがございましたらお願いいたします。</p> <p>今年度は後3回の審議会を開催する予定ですが、次回の審議会開催前にここまでで何かございましたらご連絡をいただければと思います。</p> <p>次回は、＜第3章＞の計画の基本的な考え方、＜第4章＞施策と主な事業展開について、ご審議いただく予定で考えております。今回同様に事務局で案を作成いたしまして、それに対するご意見をお求めする形で進めていきたいと考えておりますので、よろしくをお願いいたします。</p> |
| 丸山会長 | <p>「苫小牧市スポーツ推進計画（案）」について、説明がありましたが、ご質問等はございますか。</p>   |
| 岩井委員 | <p>1ページの6行目にスポーツ合宿やスポーツ大会の誘致による経済効果やという表現があるが、これは適当な表現なのか。スポーツ基本法の中にこういった経済効果といった表現が無かったような気がしますどうなのでしょう。</p> <p>2つ目に18ページの4行目に本市の健康・障がい者・高齢者・教育分野などといった表現があるが、健康なら「健康維持の計画」という表現の方が良いと思いますし、並び方もちぐはぐな感じがするので調整した方がよい。</p> <p>3つ目に18ページ7行目の子どもの体力の向上とあるが、現状は向上ではなく、低下になるのではないかと思います。</p> <p>4つ目に同じく18ページの3段落目の競技人口～の1つに文章の表現にな</p>  |

|       |  |
|-------|--|
| 岩井委員  | <p>りますが、同じ文章の中に様々な表現が入ってしまっているのでもわかりにくいと思います。文章を区切って読んでいる人にもわかりやすくしたほうが良いと思います。</p>  |
| 事務局   | <p>1つ目ですが、当室として大会、合宿誘致という点に力を入れていますので、それに繋がる経済効果という点を表現に入れておりました。スポーツ基本法との関連性・表現も含め、今後協議していきたいと思います。</p> <p>2つ目についても、関連部署と協議してまいりたいと思います。</p> <p>3つ目については、ご指摘のとおり訂正いたします。</p> <p>4つ目についても、わかりやすい文章になるよう訂正いたします。</p>  |
| 本間副会長 | <p>1つ目に、14ページ9行目は、「さらに」という表現が適切と考えます。</p> <p>2つ目に、3ページ12行目で、地域コミュニティの再生、ノーマライゼーションの推進といった表現がありますが、わからない人もいますので下部に説明書きを加える等の配慮は必要かと思ひます。</p>  |
| 事務局   | <p>ご指摘のとおり、どちらの点も対応したいと思います。</p>   |
| 大村委員  | <p>17ページの「とまこまいマラソン」の件です。私は、とまこまいマラソンの実行委員会委員にもなっておりますので、その立場からお話させていただきます。</p> <p>この事業には「車いすハーフ」の競技がありますが、市民マラソンの中に「車いすハーフ」という競技が設けられているのは珍しい。札幌と釧路には車いすの方専用のマラソンはありますが、市民マラソンと一体になったものはあまりないと思ひます。</p> <p>ぜひ、この点を推進計画にも盛り込んでいただき、苫小牧市としてもっとPRしていくべきかと思ひます。</p> |
| 事務局   | <p>ご提案のとおり、表現を付け加えていきたく思ひます。</p>   |
| 丸山会長  | <p>私からもご提案があります。</p> <p>本実態調査において、駒沢大学が調査協力した立場から言わせてもらいますが、苫小牧市推進計画を作成するにあたり、集計結果からも本調査にご回答いただいた年齢層にかなり偏りがあることはご存知かと思ひます。</p> <p>例えば、7ページの図7において、「1年以内に行った運動・スポーツ（上位10種目）」とありますが、こちらも圧倒的に50代以上の意見が多く反映され</p>  |

|      |  |
|------|--|
| 丸山会長 | <p>ている結果となっており、全体の結果として正しい数値ではないような気がします。(ウォーキングや散歩が1位になっていることから)</p> <p>悪い言い方をすれば、高齢の方々の意見が大きく反映されている結果となります。全体の結果として出すのも大事ですが、ぜひ年代別に分けてのデータも出した方がミスリードもなくなり、よろしいかと思います。</p>  |
| 事務局  | <p>図7に示しているデータについては、当初事務局としても50代以上の市民の意見で偏ってしまっているのではないかと思いましたが、実際に他年代の集計結果におきましてもウォーキングや散歩といった種目が多かった結果となりました。以上の結果から、全体の結果として出すことは間違いではないと判断しております。</p>  |
| 齋野委員 | <p>回答者の年齢構成比が、苫小牧市民の年齢構成比とある程度同じであれば良いのですが、今回の調査結果のように差異があるのであれば、年齢別に明記していく必要はあると思います。</p>   |
| 丸山会長 | <p>また、今回の実態調査の送付先に関して、「世帯主」に送付していることから、ある程度男性の比率に偏ってしまっているため、年代別のデータは明らかにして欲しいというのが調査協力をした駒澤大学からの要望でもあります。</p>   |
| 事務局  | <p>わかりました。この回答者の年代別データを明記することに関しては、このあと協議していきたいと思います。</p>  |
| 丸山会長 | <p>他に事務局から何かございませんか。</p>   |
| 事務局  | <p>実態調査中の各質問の自由記入欄をまとめたものが「別紙2」になります。こちらは全25の設問回答内容をまとめております。「別紙1」と合わせてご覧ください。全てを紹介するお時間ありませんが、いくつかご紹介させていただきます。</p> <p>それでは、別紙2の2ページをご覧ください</p> <p>問16のスケートのまち、アイスホッケータウンと呼ばれることについてどう思うのかという質問です。こちらは、約半数の方が歴史的にみて当然、市民として誇りに思うなどの意見でした。その他、自由記入欄の回答数は約4.2%ですが、多かった内容としては20年～30年前はそうだったが、競技人口、指導者含め減少しており残念であるという意見が多数あり、スケートのまちとして現状を問題提起する意見が多く見受けられました。</p> |

|      |  |
|------|--|
| 事務局  | <p>続いて問 17 のスケートのまち、アイスホッケータウンとして何をしていくべきかという質問ですが、独自の文化として氷上スポーツを守っていくべきだ、普及振興にもっと力を入れるべきだという意見が約半分となっています。</p> <p>自由記入欄で多かった意見は、競技選手の強化、子どもたちへの普及、強化をしていくべきだといった、「次世代選手へ投資」という意見内容が多数となっております。</p> <p>続いて、7 ページをご覧ください</p> <p>こちらは、最後の問 3 5 の今後のスポーツ施策に力を入れてほしいことはなんですかという質問です。</p> <p>選択肢の回答としては、スポーツ施設の充実、こどもの頃からスポーツに親しむ機会の充実、高齢者が気軽にスポーツを楽しむ機会の充実といった回答が、それぞれ 3 割を超える回答となっております。</p> <p>自由記入回答としては、スケートまちのとしてアイスホッケー競技の強化はもちろんですが、アイスホッケーだけではなく競技人口を把握した上で、他競技の施策に力をいれるべきという意見や、ハイランドの屋外リンクを屋内リンクにし、リンクの内側をテニスやフットサルなど他競技でできるようにするべき、夏もしっかり稼働できるような施設にしていくべきなどの具体的な意見もありました。</p> <p>また、町内会でのスポーツ情報交換を多くしてほしい、一人でも参加しやすいスポーツイベントを増やしてほしい、プロスポーツを見る機会を増やしてほしいなど、誰もが参加しやすいスポーツの機会が求められていることを強く感じました。</p> <p>他にも様々な意見がありましたので、皆様方にもご一読いただきまして、今後の推進計画の作成や、50 周年事業の実施に役立てていきたいと考えております。</p> |
| 丸山会長 | <p>続いて、議事（2）スポーツ都市宣言 50 周年事業についてに入ります。スポーツ都市宣言 50 周年事業について、事務局から説明をお願いいたします。</p>   |
| 事務局  | <p>それでは【資料 2】のスポーツ都市宣言 50 周年事業についてをご覧ください。</p> <p>スポーツ推進室の職員で、平成 28 年度に迎えるスポーツ都市宣言 50 周年記念事業について検討してきました。</p> <p>その中で、人と人、未来、次世代の子どもたちへ「つなごう」、また、60</p>  |

|     |   |
|-----|---|
| 事務局 | <p>周年70周年にも「つながる」事業を展開していきたいとの思いからこのようなテーマを考えました。</p> <p>苫小牧市は、「スポーツを通じて豊かで明るい都市を築くことを目標」に昭和41年11月12日、全国で初となるスポーツ都市宣言を行いました。その内容としましては、「市民すべてがスポーツを楽しみましょう」「力をあわせてスポーツのできる場をつくりましょう」「次代を担う青少年のため、地域にも職場にもスポーツの機会をつくりましょう」「世界に活躍する市民を育てて広く世界の人と手をつなぎましょう」と4つの目標を掲げて宣言を行いました。</p> <p>当時の大泉市長は、スポーツ都市宣言に込められた思いとして、「スポーツによって培われた健康でたくましい市民の手によって、豊かで明るい活力あるまちづくりを進めたい」と表現しております。</p> <p>昨年スポーツ推進室では、スポーツ都市宣言を行ってから50年を迎えるにあたり、駒澤大学さんのご協力を得て「苫小牧市民の運動・スポーツ活動実態調査」を行い、その中でスポーツ都市宣言の認知度を示す調査を行いました。その結果が2つのグラフになります。左のグラフは、「スポーツ都市宣言を全国で初めて行ったまちであることを知っているか」との質問で、半分以上の市民が知らないとの回答でした。また、右のグラフは、「スポーツ都市宣言の内容を知っているか」との質問で、あまり知らない・全く知らないが7割を超える回答でした。この回答結果を受け、50年前のスポーツ都市宣言を作った先人の思いに込められているだろうかということを考えました。</p> <p>全国で初のスポーツ都市宣言の意義、存在価値、先人が込めた思いを現代に生きるわれわれ市民が「未来」につないでいかなければならないと考え、スポーツ都市宣言50周年では、「つなごう」をテーマに事業を展開していこうと考えております。</p> <p>スポーツ都市宣言50周年記念テーマを「つなごう」～人と人、苫小牧の未来、次世代を担うこどもたちへ～とし、スポーツ立国戦略の基本的な考え方「する人、観る人、支える（育てる）人」を重視し、さらに、「する人、観る人、支える（育てる）人」をつなげ、相互理解を深めていきたいと考えております。</p> <p>実際に事業を展開していくにあたり、現代社会における【スポーツ】の役割に着目し、「する人・観る人・支える（育てる）人」の観点から事業を構築していきたいと考えております。</p> <p>現代社会における【スポーツ】の役割とは、人格の形成や体力の向上、健康長寿の礎（いしずえ）であるとともに、地域住民相互の新たな連携に</p> |
|-----|---|

|      |   |
|------|---|
| 事務局  | <p>より地域の活性化やスポーツ産業の広がりによる経済効果など、明るく豊かで活力に満ちた社会を形成する上で欠かすことのできない存在となっていると考えております。</p> <p>現代社会における【スポーツ】の役割を果たすためには、スポーツ以外の異なるジャンルとの共存・融合を積極的に行っていくことが重要ではないかと考えております。</p> <p>スポーツと異なるジャンルとの共存・融合は、数多くの「人と人」をつなぎ、発信力が高められると期待しております。ここでは、「スポーツ都市宣言の意義、存在価値、先人が込めた思いを事業を通じて広げられる」としてありますが、共存・融合したジャンルの認知度も同時に高められることが可能になると考えております。</p> <p>スポーツと異なるジャンルとの共存・融合を可能とするためには、スポーツ推進室職員のみならず、他の部署とも連携・協力を依頼し、イベント企画・運営を行っていきたいと考えております。</p> <p>今後については、イベント立案・計画や展開について検討し、スポーツはもちろんのこと、特に「スポーツとふくし」や「スポーツと観光」などといった事業を企画することができればと考えております。</p> <p>最後になりますが、60年・70年を迎えても、全国で初めてスポーツ都市宣言を行ったまちとして誇れるものとするためにも、「つなごう」をテーマに展開していきたいと思っております。</p> |
| 丸山会長 | <p>事務局から説明がありましたが、ご質問等はございますか。</p> <p>では、質問が無いようですので、次に進みます。</p> <p>続いて、次第5の「その他」ですが、(1)平成27年度のスポーツ施設の整備状況について、事務局から説明をお願いいたします。</p>  |
| 事務局  | <p>【資料3】をご参照ください。</p> <p>&lt;スポーツ関連予算&gt;については、前回と同じ内容となっておりますので割愛させていただきます。</p> <p>緑ヶ丘野球場と、庭球場に関しては【資料3】のと通りの工事内容、スケジュールとなっております、今年度より進めております。</p> <p>また、5月3日には、陸上競技場がオープンしまして、第3種公認の競技場となりましたので、改めてご報告申し上げます。</p>   |
| 丸山会長 | <p>平成27年度のスポーツ施設の整備状況について説明がありましたが、この件に関してご質問等はございますか。</p>  |

|       |   |
|-------|---|
| 本間副会長 | 野球場に関しては、7月からバックスクリーン、スコアボード更新となっているが7月から球場は使えなくなるのか。   |
| 事務局   | 競技には差し支えないように、実施するので大丈夫です。  |
| 斎野委員  | 陸上競技場についてですが、競技団体からも「水飲み場」はないのかといった要望が多くあります。以前はあったようだが、今後の方向性などが決まっていれば教えてください。  |
| 事務局   | スポーツ推進室として、「水飲み場がないのか」といったお話は聞いております。<br>どうしていくかも含めて、今後協議してまいりたいと思います。  |
| 島崎委員  | 野球場や庭球場の改修はあるようですが、緑ヶ丘公園全体のトイレ改修の予定はあるのでしょうか。   |
| 事務局   | あくまでも、当室ではスポーツ施設の改修を進めております。緑ヶ丘公園のトイレについては、他部門での担当となっておりますが、市全体の方向性としてはトイレの洋式化を進めていく方向性で動いております。  |
| 丸山会長  | 続いて、その他（2）全国高等学校選抜アイスホッケー大会の今後の運営について、事務局から説明をお願いいたします。   |
| 事務局   | 私から全国高等学校選抜アイスホッケー大会の今後の運営について、ご報告させていただきます。<br>全国高等学校選抜アイスホッケー大会は、平成18年度から実施しており、今年度で第10回目を迎えます。<br>一般財団法人地域活性化センターから年間400万円の助成を受け大会を実施しておりますが、今年度の10回大会で助成が終了する予定でございます。<br>11回目以降につきましては、「自立促進事業」として新たに設けられる助成制度があり、11年目に一時金の交付を受けて基金として活用する「一時金型」か、3年間にわたり逡減する助成金の交付を受ける「自立計画型」のどちらかを選択し、助成を受けることができますが、それ以降については、助成無しで大会を継続しなければなりません。<br>どちらを選択するにしても、助成金400万円を前提にした現在の予算 |

|       |  |
|-------|--|
| 事務局   | <p>を見直す必要があり、その内容については検討中でございます。現在は無料である参加料を有料にすることや、現在実施している宿舎から試合会場までの無料バス輸送を廃止するなど費用の削減について、ご意見ご提案をいただいております、それを基に本大会を継続して開催してまいりたいと考えております。</p> <p>今後のスケジュールといたしまして、7月に行われる予定の実行委員会にて、11回目以降の助成制度の選択などについて協議してまいりたいと考えております。</p> <p>全国高等学校選抜アイスホッケー大会の今後についての報告については、以上でございます。</p> |
| 丸山会長  | <p>全国高等学校選抜アイスホッケー大会について説明がありましたが、この件に関してご質問等はございますか。</p>  |
| 島崎委員  | <p>助成がなくなるということですが、toto 事業の助成は受けられないものなのか。</p>   |
| 本間副会長 | <p>toto 事業の助成については、文科省が日本アイスホッケー連盟に対して助成しており、本大会については特に関与していない状況です。</p> <p>今後も引き続き大会は継続してほしいという意見が多数ですので、高体連と相談しながら、参加費を徴収するなどの対応をしていきたいと思っています。</p>   |
| 丸山会長  | <p>続きまして、その他（3）新ときわスケートセンター騒音問題について、事務局から説明をお願いいたします。</p>  |
| 事務局   | <p>新ときわスケートセンターの騒音問題について説明させていただきます。</p> <p>6月の定例市議会や新聞でも取り上げられておりました騒音問題についてでございますが、同スケートセンターは昨年9月に完成し、多くの市民に利用されておりましたが、昨年12月に近隣住民から、バックがフェンスにぶつかる音や、駐車場に待機しているバスのエンジン音がうるさいなどの苦情が市に寄せられました。</p> <p>早速、騒音測定器を設置して計測したところ、法で定める環境基準はクリアされるものの、公害防止条例の騒音規制基準を超える音が確認されました。</p>         |

|      |  |
|------|--|
| 事務局  | <p>以後、利用に関する注意事項について利用団体に向けた文書を配布したり、選手控室及び入口に注意喚起の張り紙を貼るなどを行い、さらに壁に吸音材を設置し効果の観測を行いました。</p> <p>この間、苦情の申出者と面談を繰り返し、早朝と夜10時以降の利用を制限することで了解をいただき、6月から利用時間の制限をしております。利用者の方には大変ご不便をお掛けしているところです。</p> <p>現在、関係部署で様々な実験やシミュレーションを行い、最善最良の対応策を検討している状況でございます。</p>  |
| 丸山会長 | <p>新ときわスケートセンターの騒音問題について説明がありましたが、この件に関してご質問等はございますか。</p>  |
| 丸山会長 | <p>実際にこの問題については、近隣住民の方々から複数の苦情があったのですか。</p>  |
| 事務局  | <p>直接市の方に苦情をいただいているのはお一人ですが、実際のところはその方を代表として近隣の住民の何人かから、そういった苦情をいただいている状況でございます。</p>   |
| 丸山会長 | <p>委員の皆さんから、会議全体を通してご意見、ご質問等ございますか。</p>  |
| 齋野委員 | <p>現在、観光協会の立場からも、大会・合宿誘致に力を入れてございます。トップレベルの選手が集う大会等をぜひ苫小牧で開催したいと思っておりますが、ある競技で札幌で開かれる大会を苫小牧で開催しないかという打診があったにも拘わらず、苫小牧の競技団体がそこまでの規模の大会は開催できないと断った経緯があると聞きました。様々な理由があるとは思いますが、もし競技団体が負担になるようであれば、市、体育協会等のフォローをいただき、市全体で大会を呼び込むような体制を構築したいと考えています。</p> <p>ぜひ、推進計画にもそういった内容を盛り込んでいただきながら進めてほしいと思い、要望いたします。</p> |
| 事務局  | <p>身近でトップレベルの選手のプレーを見る機会を作っていくことは、苫小牧の次世代を担う選手の育成にも繋がっていくことを深く認識しております。</p> <p>大会、合宿誘致につきましては、齋野委員のおっしゃる通り、苫小牧の競技団体の事情も色々あるかと思えます。この点については、今後の論点にもなっていくと考えております。また、我々だけの意見だけではなく、関係する諸団</p>  |

|      |   |
|------|---|
| 事務局  | <p>体の意見、スポーツ推進審議会委員の皆様のお力を借りながら進めていきたいと考えておりますので、今後もどうかお力添えをよろしくお願い申し上げます。</p>  |
| 丸山会長 | <p>札幌、帯広、網走等も大会、合宿誘致に力を入れていると聞いています。苫小牧市は他市と比べてアクセスも抜群ですので、今後も力を入れて盛り上げていくべき内容かと思います。</p> <p>他に質問が無いようでしたら、これで終了させていただきます。</p> <p>それでは、進行を事務局にお返しいたします。ありがとうございました。</p> |
| 事務局  | <p>丸山会長、ありがとうございました。</p> <p>次回の審議会は9月を予定しております。詳細につきましては、あらためてご連絡させていただきますので、宜しくお願いいたします。</p> <p>それでは、これをもちまして「第3回 苫小牧市スポーツ推進審議会」を閉会いたします。</p>                          |